

# 「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」中間とりまとめ(案)の概要

## 東日本大震災を受けた課題

### ○津波災害等からの避難行動に関する課題

・今回の地震で発生した津波は想定以上の規模であり、災害の大きさを予想できなかった等の理由により、迅速な避難行動が取れなかった例があった。

### ○児童生徒等の引渡しなど被災時の対応に関する課題

・通信網及び交通網が遮断された状況で、学校と保護者との連絡が不可能となり、児童生徒等のスムーズな引渡しができず、混乱した例があった。

### ○学校と地域防災の関係に関する課題

・児童生徒等の安全確保、避難行動への対応と併せ、避難してきた地域住民への対応が重なり、教職員が混乱した例があった。

## 今後の施策の方向性

### 防災教育

#### ○自然災害等の危険に際して「行動につなげる態度」の育成

- ・周りの状況に応じ、即座に臨機応変な行動や対応を取ることができ「行動につなげる態度」を育成するための教育手法の開発・普及
- ・防災に関する基本的な知識を習得させる教科等での指導充実

#### ○支援者となる視点から、社会に参画する意識を高める

- ・発達段階に応じ、社会参画意識の向上につなげる支援活動を組み込んだ教育方法の開発・普及

### 防災管理・組織活動

#### ○被災時における安全を確保するための防災管理・組織活動の充実・徹底

- ・すべての安全担当教職員等に対する研修の推進
- ・地震・津波に係る対応マニュアルの整備・充実
- ・大学や研究機関の研究者等の助言による各学校のマニュアル整備と学校における実践的な避難訓練等の推進
- ・緊急地震速報の全国の学校への整備を進めるとともに、避難行動に係る指導方法等の開発・普及
- ・地域・家庭と連携した実効性のある防災訓練等の推進  
(避難所での対応についても日頃から地域との連携を推進)

### 今後の課題

- ・防災教育以外の安全教育の領域それぞれでの学習が相互に効果的に応用できるような検討が必要